

7-5 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果 (2009年11月～2010年4月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (November, 2009 ~ April, 2010)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

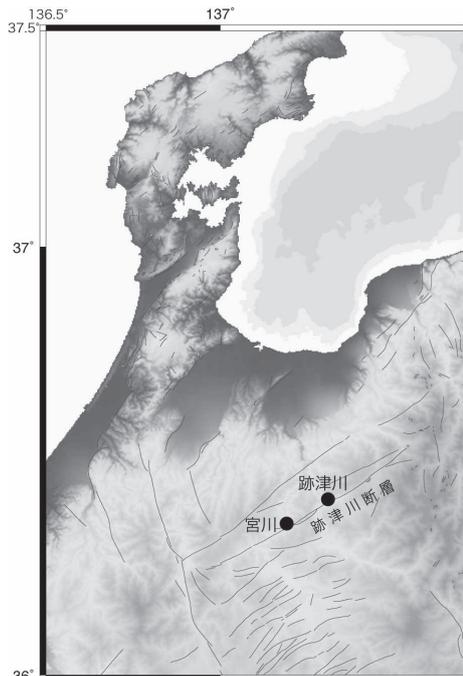
1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。深度256.78～267.66 mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている。跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。地下水位と体積温度計の計測も行っている。

2. 観測結果概要

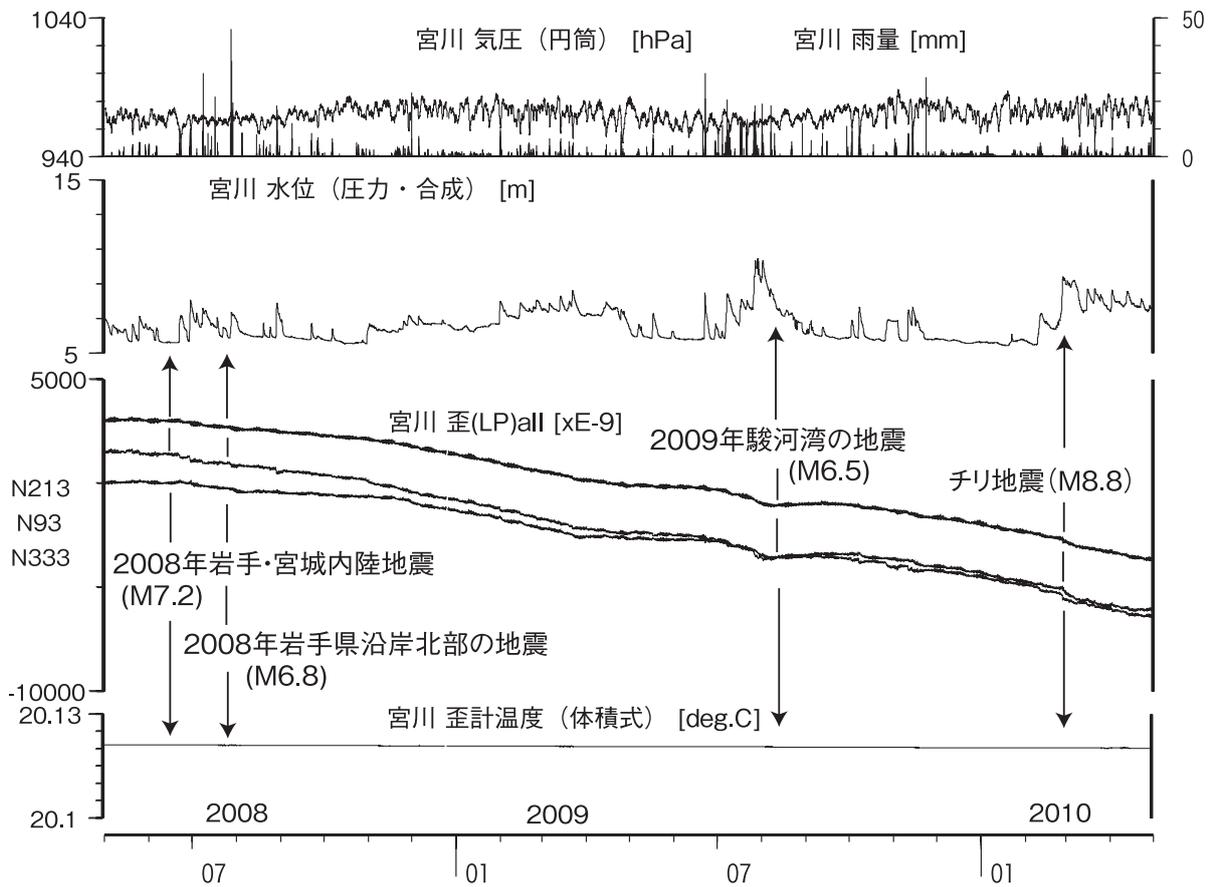
宮川(第2図)：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。

跡津川(第3図)：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度、歪の不安定な変動が続いている。2009年8月11日駿河湾の地震M6.5直後から5時間程度かけて約1cmの水位上昇が観測された。また、2010年2月27日チリ地震M8.8発生付近に水位上昇が見られるが、この水位変化は地震発生前から生じているため、チリ地震とは関係がないと考えられる。

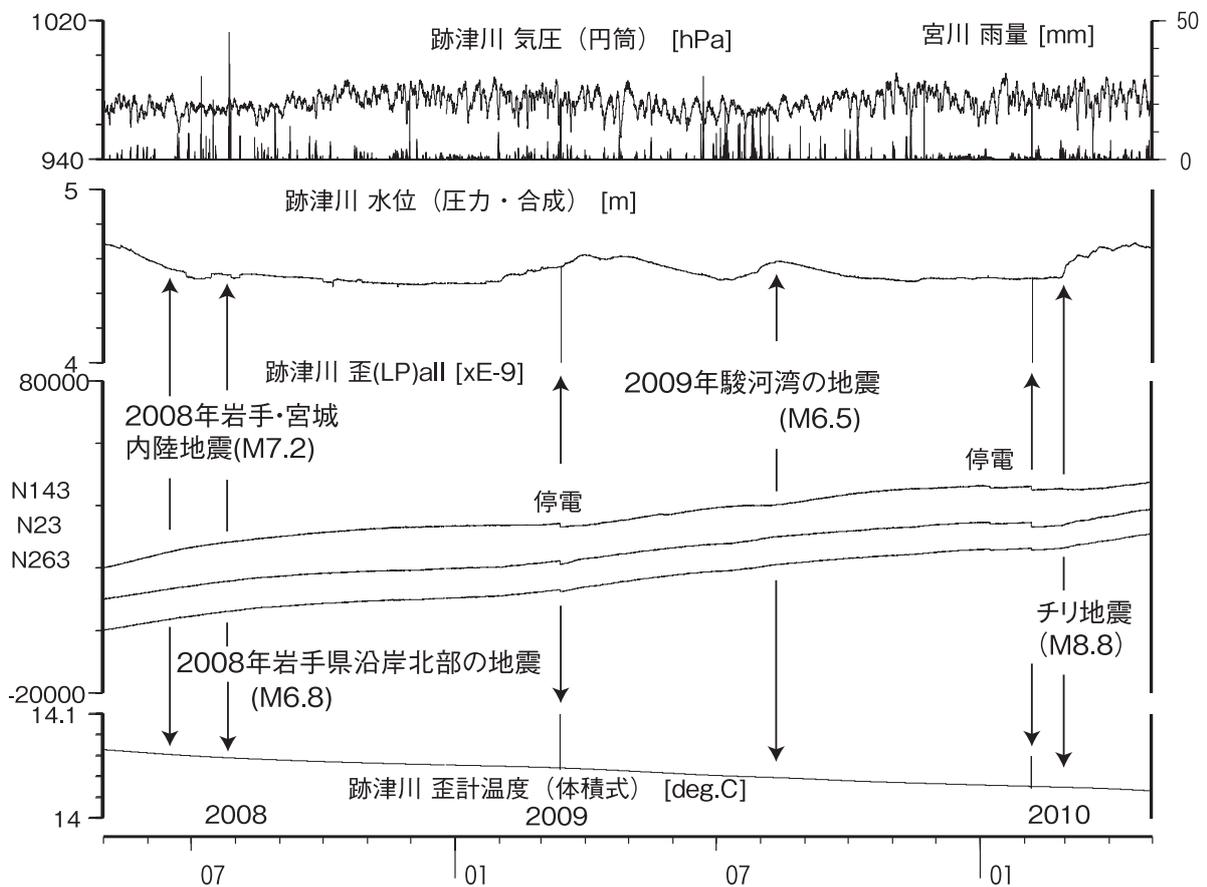


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果(2年間)
 Fig. 2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果(2年間).
 Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).